

県内商工会の地域貢献事業紹介

かづの商工会(県北地区)

事業名

事業名やる気のある事業者を支援!かづの逸品マッチング商談・即売会事業「鹿角いいもの!うまいもの!」大集合!を開催

1 事業の内容

かづの商工会では、行政と連携して展示販売・商談会を広域的に開催する国の補助事業「地方公共団体連携型広域展示販売・商談会事業」の採択をうけて、1月16日(金)~18日(日)の3日間で東京都千代田区神田淡路町のワテラスにおいて、かづの逸品マッチング商談・即売会事業「鹿角いいもの!うまいもの!」大集合!を開催しました。

本事業は、鹿角地域の特産品や商品開発に取り組み、首都圏に販路を拓こうとする「やる気のある事業者」を支援することを狙いとして、参加事業者の商品販売や長期にわたる取引を狙いとしたマッチング商談会と物産展を実施しました。

初日はバイヤーを招聘した商談会を開催し、首都圏の通販系・百貨店系・飲食店経営者と鹿角の事業者がマッチング商談を実施しました。

17日~18日では31事業所の選りすぐりの商品の販売が行われ、鹿角産のお米や漬物、お菓子の他、地酒等の商品を販売し、屋外の飲食ブースではさりたんぼ鍋や鹿角ホルモンを始めとした鹿角自慢のふるさとの味を提供しました。

2 事業の効果

会場は県人会の他一般来場者など約550名の来場で大盛況となり、商工会で設置したアンテナショップの利用者や昨年に引き続き周辺住民の来場もあり、確実な鹿角の知名度向上を実感しました。商談も続々と成約の報告を受けており今後も持続的なフォローアップを行ってまいります。



男鹿市商工会(県北地区)

事業名

事業名 旬の地魚ハタハタによる冬の観光振興事業

1 事業の内容

本県最大の農業イベントである「秋田県種苗交換会」が今年度は男鹿市を会場として開催されました。17年ぶりの開催であり地元では農業関係者のみならず商工会員事業所も観光客誘致のチャンスと捉え、地域の物産やご当地グルメなどで「おもてなし」を展開してまいりました。賑わった種苗交換会の終わりとともに、市内観光業界にとって厳しい冬が訪れます。

12月、厳寒期の到来とともに、今年も男鹿の沿岸には季節ハタハタの群れがやってきました。港では家族総出で雄と雌を選別する姿がみられ、人の往来も激しく活気に満ちた光景がありました。当会ではハタハタの接岸で沸き返る雰囲気や冬の観光誘客に生かそうと、平成20年に12月6日を「ハタハタの日」と定めました。昨年までは市内の飲食店でハタハタ料理を割引価格で提供するといったイベントを展開してきましたが、今年度は初めて「男鹿ハタハタフェア」と題して、市内小売店や観光事業者、行政、観光協会、漁業組合、男鹿温泉郷協同組合等との連携によりハタハタにこだわったイベントを盛大に開催しました。

ハタハタが接岸する12月1日から14日までの2週間、男鹿市全体がハタハタをテーマとした「おもてなし」を展開することで地域に賑わいを創出させ、観光誘客に弾みをつけようと、市内飲食店や食品販売店等からも、ハタハタを箱買いされたお客様へのサービス品提供や、「男鹿しょっつる焼きそば」や「ハタハタ丼」等ハタハタを冠したメニューの割引など、独自に出来るサービスを展開していただきました。例年になく活気を作り出すことができ、旬の地魚「ハタハタ」で冬の観光振興を図ることができました。

2 事業の効果

男鹿市は「見る」「食べる」「体験する」といった観光資源が備わっています。大量に水揚げされる季節ハタハタも大切な観光資源であり、低迷する冬の観光振興を図るための素材としてとても有効であると思います。今回の事業では、行政や観光協会、多くの個人・団体からの協力により地域全体で観光客の誘致を図ることが出来ました。これまで男鹿市では観光振興をテーマとした会議を様々な形で行ってきました。しかしどれも協力体制を築くことが難しく、どこか単独で実施している場面が多くみられました。この度は商工会が舵を取り積極的に協力要請を行い、それぞれが得意とすることを実践してもらうことといたしました。各自が役割を果たすことで様々なバリエーションを取り除き、今までは違う協力体制の在り方を実感することができました。商工会はこれからも地域の個社指導に努めるとともに、観光のまち「男鹿」の地域経済活性化に取り組みでいきたいと思っております。



仙北市商工会(県南地区)

事業名

事業名 商店街賑わい創出事業「角館 雛めぐり」

1 事業の内容

歴史ある角館では享保雛や古今雛などの古雛をはじめ、この地域特有の押絵雛など角館町旧家に受け継がれてきたお雛様が数多く残されており、また、江戸時代には、武士が住む「内町」と町民が住む「外町(とまち)」に町割りりがされていたため所蔵されているお雛様もそれぞれ違った趣を楽しむことができます。

この「角館 雛めぐり」事業は、代々受け継がれ飾られている古雛や押絵雛、また現代雛・吊るし雛などを各家々で公開し、会期中は、有料ガイド付きツアーや会員事業所による雛御膳、雛菓子の提供および町内12か所を巡るスタンプラリーなど実施することで観光客に広く町内を歩き巡ってもらい賑わいを創出することを目的として実施しています。

2 事業の効果

6年目を迎えた今年は、拠点となる仙北市商工会1階の会場には、和歌山から札幌までの全国各地から1,400を超える来場があり、雛御膳の提供やスタンプラリーを行ったことで当地への滞在時間の延長やリピーターの獲得にもつながり、冬季の観光客が一番少ない時期に地域に賑わいをもたらす一大イベントとして市内外に定着しております。

今後は角館ファンの増加と会員事業所業績向上に向け様々な仕掛けを行い、更なる角館ブランドアップを図っていきます。

